

# 木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和6年5月号 No.204

名古屋木材組合  
名古屋港木材産業協同組合

## 令和6年度名古屋木材業界新入社員歓迎会・講習会

令和6年4月5日(金)午後1時30分から名古屋木材会館において、名古屋木材組合員各社の新入社員31名(参加企業9社)を迎え、名古屋木材組合主催、名古屋木材青壮年会主管により歓迎会、講習会が開催された。

最初に西垣洋一組合長より「木材はこの10年で良さが見直され、SDGsやカーボンニュートラルに貢献し、都市に木造ビルが建つようになってきた。今後、この流れを進めるのは、皆さんの若い力です」と激励の言葉を贈った。

この後、参加者を代表して浅井梨那さん(株)マノモクが「先輩方や取引先の皆様に優しく指導していただき、少しずつ社会人として自信がついてきました」と述べ、入社2年目の新たな決意を述べた。

続いて、名古屋木材青壮年会令和5年度会長 西垣昭宏氏によるオリエンテーションのあと、講習会①「新社会人のためのビジネス・マナー」として外部専門講師矢田美穂子先生が、  
・挨拶の仕方・名刺交換・電話対応・来客対応などの実習をした。

講習会②「木材の基礎知識」として、名古屋木材青壮年会 桑原浩二氏を講師に「商品の基礎知識」「建築の基礎知識」「流通の基礎知識」の講習会が行われた。



## 令和6年度模範従業員 表彰式

令和6年4月19日(金)午前10時より名古屋木材会館において、木材業界に永年勤務され、他の模範となる名古屋木材組合員各社従業員の方々に対する表彰式が開催された。

山本剛久専務理事の司会進行のもと、西垣洋一組合長の主催者挨拶の後、名古屋市長表彰、名古屋木材組合長表彰が行われ、賞状及び記念品が手渡された。

その後、市長(代理 名古屋市経済局産業労働部 遠山将史産業企画課長補佐)からの祝辞が寄せられ、受賞者を代表して織田尚行氏(株)山西が謝辞を述べた。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

### ◎市長賞(勤続年数30年以上)

- ・土井寛章(株)山西・犬飼善博(株)山西・織田尚行(株)山西・山内克己(株)山西・吉田和人(株)山西
- ・落合孝司(株)山西・本田匡樹(株)山西・須永敏幸(株)山西・萩森好範(株)山西・松井一(株)山西
- ・吉田安宏(株)山西

### ◎組合長賞(勤続年数15年以上)

- ・岩田政美(株)サンコー・加藤靖(株)サンコー・紫倉誠教(株)サンコー・赤塚美穂(株)サンコー
- ・澤木卓也(材惣木材株)・坪井由美(材惣木材株)・鈴木政貴(株)東海木材相互市場
- ・西田昌史(フルハシEPO株)・横地智(フルハシEPO株)・野口友章(フルハシEPO株)
- ・安藤有紀(フルハシEPO株)・佐原貴正(フルハシEPO株)・近藤義貴(名古屋木材株)
- ・中村弘(丸美産業株)・大山悦子(株)山西・河原明美(株)山西・中島一也(株)山西
- ・上村準一(株)山西・豊田啓幹(株)山西・加藤幹生(株)山西・榎孝一(株)山西・坂口拓未(株)山西
- ・山本充(株)山西・藤井佳美(株)山西・下野華子(株)山西・横島ひとみ(株)山西



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

# さわやかとーく

ゲスト：梅谷 雄高 名古屋木材青壮年會會長  
聞き手：江口 達郎 副組合長(名古屋木材組合)

4月4日に開催された名古屋木材青壮年會總會で第62代會長に就任された梅谷雄高氏を「さわやかとーく」のゲストとしてお招きしました。入會以來13年間、木青連などの外部団体への出向期間の方が長いという珍しい経歴。その経験を名古屋木材青壮年會の會長として、どう生かしていくか。今年の活躍が大いに期待されています。

(聞き手は江口 達郎副組合長)

—會長は未就任だったのが意外な感じがします。改めて會長としての抱負をお聞かせください。

梅谷 入會して13年です。もちろん會長就任を希望したわけではないですが後輩に頼まれて断るわけにはいきません。会社の仕事はパレットや木材加工関連ですが業界以外が販売先ということもあり、業界とは違った視点もあって、なによりこの13年間に様々な繋がりが生まれました。その縁に大きな価値があると思います。スローガンも「繋がり」としました。これまでの経験を生かして外、横、上、下へとさらに繋がりを増やし、少しでも名古屋木材青壮年會に還元できればと思っています。

—どんな会にしたいですか。

梅谷 学校卒業後、液晶ディスプレイ開発の仕事を経て、6年後に今の会社に入社しました。そして入會してすぐ出向ですから、會員活動イコール外に出ることでした、足元の状況もよく分からず、仕事や業界のことも分かりません。でも返って、それで価値あるものをいただいたと思います。言葉で表すことは難しいのですが、一言で言えば繋がり、人脈というかコネクションの塊です。外に出なかったら、今の会社の仕事もなかったでしょう。

最近、製材を導入しましたが、これもやっていないでしょうね。新しいことをやるには経験もなく大きなハードルがあります。しかし、今は様々な繋がりの中で専門家なり、その道に詳しい人に直接聞くこともできます。

パレットは広域流通ですが木材は流通が広がればコストは上がります。もう少し地域に根差した繋がり強化が課題ですね。

—御社で扱うパレットは産業資材で、いわばボーダーレスですが、一方で住宅資材は地域産業という性格があります。そこで地域性を取って目指すという視点は面白いですね。

梅谷 弊社の仕入れ先は木材業界ですが、販売先は違う業界です。だから、正直なところ、弊社は木材業界にいるという意識が低かったですね。私がお客さんに提供している価値とは、お客さんに届けた

り、運んだりするだけで、木材は性能とコストのバランスで、たまたま選ばれているだけという意識ですね。しかし業界で活動するうちに最近、方向が見えてきたような気がします。木材利用を進めていく中で、もっと木材に付加価値をつけられるのではないかと、会社の価値も拡大させていけるのではないかと。そう思うようになったのも青壮年會の活動のおかげだと思っています。

—今後の青壮年會は、どうあるべきだと思いますか。

梅谷 青壮年會だけでなく一人だけ、一社だけでできることは、たかが知れています。共同事業も一つの方法ですが、緩い横のつながりの中で、新しい価値やサービス付加ができないかなと思います。

ある先輩がこの会は「与信管理がいらぬ」、裏切られることはない」と言われたことがあります。前向きに「わくわく」するような仕事が、好きな仲間とやれたらいい、会としてその中で一緒にやっていけたらと思いますね。

—この業界にあまり悪い人はいない。いい人と巡り合うことができるのも会の魅力でしょう。ところで、今まで大きな影響を受けた出来事はありますか。

梅谷 影響を受けた人は何人もいますが、基本的に私は父を一番尊敬しています。会社は母の実家で、父は若い時、エンジニアから畑違いの仕事に就き苦勞して現在まで繋いでくれました。尊敬の対象です。

また印象深いことは、ある木材業界の経営者が東日本大震災の時、社員1年分の給料分を借入し、社員に好きなように使えと渡したという話です。経営者の覚悟はそういう時に表れるのかなと思いました。能登半島地震で弊社が加工した「組手仕」が被災地で喜ばれ、とてもうれしく思っています。

梅谷 雄高氏 (うめたに・ゆたか)

1980年3月、犬山市生まれ。44歳。三重大学工学部修士課程卒業後、三洋電気に入社。その後2010年に水野商店に入社し、現在代表取締役社長。家庭では11歳と双子6歳の男子の父親。



## ◆ 合縁木縁 ◆

## 「健康について」

日本にコロナウイルスが上陸したのが2020年1月、それから幾度もの緊急事態宣言を受け、仕事でもプライベートでも生活の仕方が一転しました。今年の新入社員の話を聞いていると大学1年目がちょうどコロナウイルスの影響真ただ中で、リモート授業で登校できず、サークル活動に参加できないまま卒業したと話しており、改めてその影響を実感しました。

コロナウイルスは2023年に5類に引き下げられ、世間一般でもコロナ禍以前の生活が戻りつつあり、メディアでも各地の開花予測やそれに伴うお花見やこれからのイベントの特集も多く取り上げられ、心が掻き立てられている人も多いのではないのでしょうか。コロナ禍を経験し、健康について以前よりも目を向けるようになった方も多いのではないのでしょうか。そこで、諸先輩方から教わった健康のため、免疫機能を高めるために大事にするべきことを共有したいと思います。

免疫機能を高めるには、大きく分けて5つあります。5つとは、「23時～2時は寝る」、「朝は太陽光を浴びる」、「水を1.5L飲む」、「1日3食」、そして「歩くもしくはふくらはぎを定期的にもむ(血液循環の基礎!!)」です。これだけで「人」としての最低限の行動をしたことになるからです。寝る時間帯に寝ないとホルモン分泌を低下させますので、成長力が落ちてウイルス感染しやすくなります。太陽を浴びられる時間に浴びないと健康を損いますし、水は「血液」の源ですから、ジュースやお茶などばかり飲む事は避けたいです。また食事では、米や小麦やイモ類のような炭水化物はブドウ糖になり「脳を動かす原料」ですが、その貯蓄時間は「朝なら昼まで」「昼なら夕刻まで」となりますので、特に朝食を食べないのはお薦めしません。せめて一口大くらいのご飯を口にすると良いと思います。

今回は、江間忠ウッドベース株式会社 芹野 勇歩氏にお願いします。

## ◆ 自遊で異見番 ◆

## 「エンゲージメント」

皆さんは、「エンゲージメント」という言葉をどう存じでしょうか。

「エンゲージメント」とは「婚約」「誓約」「約束」「契約」などの意味を持つのが一般的ですが、使用用途によってその意味合いは異なります。「エンゲージメント」とは、「深いつながりをもった関係性」を示す言葉であり、ビジネスにおいては、社員・企業という両者の間に確固たる信頼関係が構築されていることを指します。

近年、日本企業を取り巻く社会環境、雇用環境の変化を背景に、「エンゲージメント」が人事の領域で重視されています。少子高齢化に伴い労働人口の減少などが深刻な現代において、企業の力となる社員のエンゲージメントを向上させることは、必須ともいえる課題です。

最近になって、若手人材や高業績人材がキャリア形成や、より良い処遇を求め転職することが一般化してきました。TVでも転職サイトなどのCMがよく流れているのを目にします。構造的な人材不足の中、優秀な人材の流出に歯止めをかけるためにも、社員のエンゲージメントを高め、処遇以外でも社員との絆を築き定着へとつなげることが求められています。

只、残念なことに日本では今、社員の仕事への熱意、会社への帰属意識は世界125カ国で最低であり、エンゲージメントが低い社員、いわゆる「ぶら下がり社員」は7割に上ると言われています。これでは自ら考えて動く社員の力をうまく引き出せず、企業の業績や成長にも影響が出てきます。

言うまでもなく、企業が持続的に成長していくための源泉は「人」です。かつて経営の神様である松下幸之助翁は、「企業は人なり」「人材こそ最大の財産」という言葉を残されました。企業や組織を運営していくためには社員（ヒト）は不可欠な存在であり、言い換えれば社員の「エンゲージメント」を高めることがこれからの企業経営においては必要不可欠となります。

「エンゲージメント」を向上させる施策は企業によって様々です。まずは自社にとって最適な取り組みを進めていくことが肝要であり、私も自社の社員のエンゲージメントをいかに向上させるかを考え、働きがいのある職場づくりに努めて参りたいと思います。

### 第74回全名古屋木材産業野球大会開幕

「第74回全名古屋木材産業野球大会」(名古屋木材健康保険組合、名古屋木材組合、名古屋港木材産業協同組合共催)の開会式及び第1試合、第2試合が「木場南C球場」で4月14日(日)午前9時45分から開催されました。

開会式は全8チーム各企業名の書かれたプラカードを手に整列し行われました。

江口達郎大会委員長が「大会の趣旨は健康と親睦です。怪我のないよう、明日の業務に支障がないように楽しんでください。」と挨拶されました。

エンヤチームの荒川剣正選手が元気に選手宣誓を行い、続いて名古屋ダイヤモンド野球連盟の山崎定市審判部長がルール説明を行った後、株式会社ヤマガタヤの松波俊寿総務部長の始球式で大会の幕が開きました。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆ 蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

### GWは侵入盗対策を!

ゴールデンウィークは、店舗・事務所や個人宅をねらった侵入盗被害が多発します。被害に遭わないために、

★店舗・事務所は

◎店舗内に現金を保管しない ◎防盜金庫の活用(破壊、搬出に耐え得る性能を有する金庫、ベースボードへの固定)

★個人宅は

◎補助錠、警報機等を設置する ◎室内灯を点灯しておくなど不在を悟られないようにする 等の対策をしましょう。

第13回ゴルフコンペが3月24日(日)南山カントリークラブで開催されました。順位は下記のとおりです。

👑 1位 江口達郎氏(江口木材(株))

2位 坂野宏司氏((資)昭和製材所) 3位 杉坂 博氏(丸美産業(株))



### ◆ 広告コーナー

Technology for Clean Air & Bulk Handling

# INOUE

集塵装置の省電力・安全  
木質バイオマスの利活用

ご提案します!!

快適な環境づくりに取り組む  
**井上電設株式会社** 〒460-0022 名古屋市中区金山4丁目3-17

052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

世界初!

## 100%リサイクルせっこうボード

チヨダサーキュラーせっこうボード

### CHIYODA CIRCULAR BOARD

廃せっこうボードから作られたリサイクル石膏を100%使用し、製造時のカーボンニュートラルを実現しました。

- 廃せっこうボードを100%原料に使用
- 製造時のカーボンニュートラル
- 従来製品と同じ高い耐火性能

共に積み、明日を創る。

CHYODA VISION ZERO チヨダサー

発行 名古屋木材組合  
 発行者 西垣 洋一  
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10  
 TEL <052> 331-9386  
 FAX <052> 322-3376  
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合  
 発行者 服部 伸一  
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74  
 TEL <0567> 57-2017  
 FAX <0567> 57-2018  
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会